

令和2年4月29日

福崎町商工会  
会長 谷口 守男 様

中小企業診断士 荒木慎吾

## 【全体の講評（総括）】

事業評価委員会の各委員の評価とコメントを拝読させて頂き、全体の講評をさせていただきます。まず、「Ⅰ.経営発達支援事業の内容」については、各項目の評価にバラツキがあります。具体的には、「1.地域の経済動向調査に関する事」「5.需要動向調査に関する事」では評価が低くなっていますが、「4.事業計画策定後の実施支援に関する事」では、全ての委員から高い評価を得ています。従って、「Ⅰ.経営発達支援事業の内容」の中では、特に評価の低い項目について、理由と課題を明確化することが必要です。一例として、令和元年度は未実施の「事業承継セミナー」については、事業承継計画の策定だけでなく、実際に承継した後継者の体験談を聞くことも良い機会になります。近隣商工会にて3年前にこのスタイルで開催し、後継者2名に登壇して頂きました。その結果、会員事業所のモチベーション向上に繋がり、経営革新・持続化補助金の申請数の増加にも繋がっています。このように、他の商工会の取り組みも参考にしながら、理由と課題の明確化を進めることを検討してください。

次に、「Ⅱ.地域経済の活性化に資する取り組み」「Ⅲ.経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組」については、各項目で概ね高い評価を得ています。但し、評価する項目を細分化し過ぎている面があり、次年度以降は「Ⅱ.地域経済の活性化に資する取り組み」「Ⅲ.経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組」については、各項目を若干集約した上で、各委員の評価を頂くことを検討してください。

最後に、福崎町商工会は経営支援・地域振興ともに非常に熱心に取り組まれています。特に経営支援に関しては、「個者支援」「セミナー等の集団指導」ともに、専門家やよろず支援拠点、日本政策金融公庫など他の支援機関とも上手く連携されており、他の商工会の模範となる取り組みです。しかし、多くの事業に取り組むことでマンパワー不足となり、一部経営発達支援事業に取組めず、低い評価に繋がっている事も考えられます。

限られた人員を小規模事業者の個社支援に最大限に発揮するために、単に開催を目的としたイベント等の事業は廃止し、経営発達支援計画の目標である、町内の小規模事業者が持続的発展するために伴走型支援を充実する取り組みも検討され、次年度は、高評価に繋げるようにしていただきたい。

今後も引き続き、会員事業所への手厚い支援にあたって頂くことを、切に祈念しております。

以上

**令和元年度 経営発達支援事業**

**事業評価報告書**

**福崎町商工会**

## 事業評価及び見直しをするための仕組み（計画書 14P）

経営発達支援計画を円滑かつ効果的に進めるために、行政や支援機関等の外部有識者による事業評価委員会を設置し、年1回事業の成果、評価及び見直しを行うとともに、その結果を当会のホームページにより公表し、福崎町商工会の実施する経営発達支援事業の効果的なPDCAサイクルを構築する。

### 事業評価委員会

区分	所 属	役 職	氏 名
委 員	中小企業診断士		荒木 慎吾
	日本政策金融公庫姫路支店	支店長	山脇 智博
	中小企業大学校関西校	校長	佐藤 浩史
	福崎町地域振興課	課長	成田 邦造
	兵庫県商工会連合会	広域指導センター 統括所長	小林 賢一
	福崎町商工会	会長	谷口 守男
		副会長	大井 克哉
副会長		小幡 八郎	
事務局	福崎町商工会	事務局長	木村 真一
		経営支援課係長	安本 直美
		総務課係長	大道 裕子
		経営支援課主任	鷲尾 孟彦
		経営支援課主事	船田 和夫
		経営支援課主事	宇崎 恭平

### （評価方法）

- ①事業ごとに設定した数値目標に対する実績並びに実施した内容を明記する。また、実施した事業（セミナー等）に対する参加者からアンケートを取りまとめる。
- ②外部有識者から①を基に事業成果に対する評価・見直し案について提示を受ける。
- ③評価・見直し案作成のうえ、評価委員会にて事業評価を実施。事業見直し案を作成する。

#### 【評価の目安】

A：達成率 90～100% B：達成率 70～89% C：達成率 40～69%  
D：達成率 1～39% E：達成率 0%

### （改善方針の決定）

正副会長会において評価・見直し案を提出、改善方針を決定する。

### （事業の成果・評価・見直しの結果の報告及び承認）

理事会・総代会に報告し、承認を受ける。

### （公表）

商工会ホームページにて事業評価及び見直した事業計画を公表する。

## I. 経営発達支援事業の内容

### 1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】(計画書4～5P)

#### 【取組んだ内容】

中小企業景況調査(地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態等諸情報を迅速・的確に収集・提供し、経営改善普及事業の効果的な実施に資するもの)を異なる業種で7事業所を対象に四半期ごとに実施したが、分析までは行っていない。

全国連より取り纏められた調査結果を福崎町商工会ホームページ上にて11回掲載した。

兵庫県・経済雇用情調査については1回、地域金融機関からの景況調査については2回取り寄せたが、活用には至っていない。今後、会員への情報提供をわかりやすく行っていくことが課題となっている。

#### 【令和元年度の目標及び実績】

項目	単位	目標	実績
現在行っている調査の取りまとめと分析	回	4	0
兵庫県・経済雇用情勢調査活用	回	4	0
地域金融機関・景況調査活用	回	4	0
上述の調査を福崎町商工会が取りまとめHP及び会報において公表する回数	回	4	11

#### 【評価・コメント】

評価	コメント
D	稲美町商工会と宍粟市商工会では、兵庫大学や兵庫県立大学と連携しながら、地域の経済動向調査を進めており、参考にして頂きたい。(荒木)
C	今後は、調査結果等を分析し、地域の会員向けに分かりやすく還元することが必要である。(山脇)
D	4項目のうち、1項目について達成している。未達の項目について、より簡便な方法を検討するなどし、所期の目的を達成されたい。(佐藤)
A	経営発達支援事業を進めていく上で、必要となる情報収集ができているか、小規模事業者が経営するにおいて、参考となる情報をアップしているか。(成田)
D	目標に至らなかった理由と課題を明確にいただき、次年度以降は実績に繋がるよう改善をお願いします。(小林)

### 2. 経営状況の分析に関すること【指針①】(5～6P)

#### 【取組んだ内容】

経営分析セミナーについては、開催できなかったが、平成30年度末に経営分析等個別相談会を開催し、参加者を中心に経営分析を12件行った。

具体的には、経営課題やアクションプランを明確に把握し事業展開できるよう、経営改善・持続的発展を特に必要とする小規模事業者を対象に巡回・窓口相談を

行い、専門家を交え事業計画の策定支援を行った。特に財務面についてヒアリングを行い、SWOT 分析をはじめ、商品・サービスを効果的に展開し売上・利益を確保するための支援を行った。

【令和元年度の目標及び実績】

支援内容	目標	実績
経営分析セミナーの開催	開催数 1 回 参加者 15 名	未実施
経営分析目標件数	30 件	12 件

【評価・コメント】

評価	コメント
B	個別相談会の事業者の計画策定時においては、経営分析にも充分に取り組まれている。（荒木）
C	経営分析の実施は一定の評価はできるが、会員企業の自立的な経営のためにも、分析手法に係るセミナー実施も必要（山脇）
C	2 項目のうち、1 項目について実施をし、目標件数は未達であった。経営状況を分析した上での「売上・利益を確保するための支援」に着手したことは評価したい。（佐藤）
C	セミナー開催日を増やし、多くの小規模事業者の参加を募ること。（成田）
D	目標に至らなかった理由と課題を明確にさせていただき、次年度以降は実績に繋がるよう改善をお願いします。（小林）

3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】（計画書 6～7P）

【取組んだ内容】

①事業計画策定セミナーの開催

6 月 22 日に青年部を中心に事業計画策定セミナーを開催し 10 名が参加。事業計画策定まで至っていないが、セミナー参加者間での幅広い世代の交流を行い、気づきやヒントを得る機会とした。主として産業構造の大きな変化により、新たなビジネスモデルを構築する必要性を踏まえ、自社（自身）の経営・事業スタイルを見直し、競争力を高めるために事業計画を作成する必要性について学んだ。

②事業承継セミナーについては、令和元年度は実施できなかったもので 2 年度は実施するようにしたい

③創業セミナーの開催

12 月 3 日から 17 日の間、4 回シリーズで、福崎町内で創業を目指す女性（創業して 5 年未満を含む）を対象とし、「女性のための起業講座」を開催。計 5 名が参加し創業計画書の作成を支援した。参加者の内、セミナー後に 1 件の創業があり、もう 1 件が令和 2 年度中の創業に向けて現在計画中であり福崎町商工会で支援をしている。

また、セミナー参加者以外で起業家支援事業助成金の申請に向けた支援を 2 件

行った。

④創業セミナー参加者（5名）をはじめ、持続化補助金、ものづくり補助金等申請者（延べ20名）に対し事業計画作成支援を行い、目標の25件はクリアした。

【令和元年度の目標及び実績】

項目	年度	30年度	元年度 目標	実績
事業計画策定セミナー開催数	回	1	1	1
受講者数・事業計画策定件数	人	12・20	15	10・0
事業承継セミナー開催数	回	未実施	1	未実施
受講者数・事業計画策定件数	人	未実施	5	0・0
創業セミナー開催数	回	4	1	4
受講者数・事業計画策定件数	人	3	5	5・5
事業計画策定件数	件	16	25	25

【評価・コメント】

評価	コメント
B	事業承継セミナー、及び承継計画の策定支援については、稲美町商工会と宍粟市商工会が、先進的に取り組んでおり、参考にして頂きたい。（荒木）
A	創業関連については、一定の評価はできる。一方で、事業者数の維持・増加のため、事業承継にかかる取組みを一層強化する必要がある。（山脇）
C	7項目について、4項目について目標を達成した。未達のうち2項目は実施をし、目標件数が未達であった。ここでは特に事業計画策定件数が目標を達成したことを評価したい。（佐藤）
B	今後も目標を目指して業務にあたってください（成田）
C	事業計画策定セミナーにおいて、策定件数が0となった理由と課題を明確にさせていただき、次年度以降は実績に繋がるよう改善をお願いします。 セミナー以外で事業計画策定につながった成功要因を明確にし、引き続き実績に繋がるよう職員間で共有をお願いします。（小林）

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】（7～8P）

【取組んだ内容】

事業計画策定した25件に対し、策定支援にかかわった職員が延べ212回訪問。計画の進捗状況やその後の課題等の把握を行った。

【令和元年度の目標及び実績】

項目	年度	30年度	元年度	実績
フォローアップ対象事業者数	社	未実施	25	25
職員による訪問延件数	件	未実施	100	212

【評価・コメント】

評価	コメント
A	充分に取り組まれている。(荒木)
A	元年度の取組みは評価できる。今後も継続的な取組みが必要。(山脇)
A	2項目について、2項目目標を達成した。計画策定後のフォローアップは有用な活動でもあり、引き続き活動の強化を期待したい。(佐藤)
A	フォローアップ、PDCAの検証をお願いします(成田)
A	次年度以降も本年度の実施体制、方法を維持し、きめ細やかな伴走型支援を引き続き実施いただきますようお願いいたします。(小林)

5. 需要動向調査に関すること【指針③】(8～9P)

【取組んだ内容】

事業計画策定支援を行った事業所を対象に店頭等での消費者アンケートや商談会等に出店した事業所支援の一環として商品やサンプル調査を行う計画であったが、令和元年度については実施できなかった。令和2年度については、担当を決めて実施する。

【令和元年度の目標及び実績】

項目	単位	30年	31年	実績
①調査対象事業者数(BtoC)	件	未実施	2	未実施
②調査対象事業者数(BtoB)	件	未実施	2	未実施

【評価・コメント】

評価	コメント
E	新型コロナウイルスの影響により、商談会等への参加は、今年度は難しい為、店頭等でのアンケートなど可能な範囲で実施すべき。(荒木)
E	未実施であり、E評価とした。(山脇)
E	2項目について、2項目とも未実施であった。事業者の顧客や市場を把握し、事業者と共有をし、それに対応することが目的であるので、「経営発達支援計画」の記載事項をふまえつつ、効率的な方法も検討し、着実な実施をされたい。(佐藤)
E	今後の実施に期待します(成田)
E	目標に至らなかった理由と課題を明確にいただき、次年度以降は実績に繋がるよう改善をお願いします。(小林)

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】(10～12P)

【取組んだ内容】

11月2日に開催したふくさき産業祭において、出展した企業（丸福化成・中井総合印刷）の販路拡大支援を行い、町民や町内企業等産業祭参加者へPRを行った。その結果、他の要因もあると思うが、丸福化成の出店後の売上が月平均31万円、中井総合印刷の売上が月平均139万円増加した。

9月5日・6日に神戸国際展示場で「国際フロンティア産業メッセ2019」が、9月19日・20日に大阪マーチャンダイズマートで「第61回大阪インターナショナル・ギフト・ショー秋2019」が開催され、それぞれ1社ずつ出展支援を行った。職員が同行し、展示方法等の支援を行い、数件商談を行ったが、新たな成約には至らなかった。

令和2年度においては、商談成立するため事前セミナー・個別相談会の開催を行う。

【令和元年度の目標及び実績】

項目	単位	現状	元年度	実績
① 展示会・即売会の出展者数	者	未実施	2	2
② 支援後の月間売上増加額／者	万円	未実施	10	85
③ 商談会の出展者数	者	1	2	2
④ 成約件数／者	件	0	1	0

【評価・コメント】

評価	コメント
A	成約には至っていないが、十分な実績が認められる。（荒木）
A	成約件数がゼロであったが、出店することで会員企業のPR効果は認められる。今後も継続的な取り組みが必要（山脇）
B	4項目について、3項目目標を達成した。項目の②と③は支援の成果であり重要であるものの、項目①と③の支援を継続していくことが前提ともなるので、引き続きこれらの活動に期待したい。（佐藤）
A	小規模事業者の育成について引き続き支援ください（成田）
C	展示会・即売会で実績に至った要因を明確にし、引き続き、実績が上がるよう職員間で共有をお願いします。 商談会での未成約の要因についても分析を行い、課題解決・改善により次年度以降は実績に繋がるよう改善をお願いします。 また、「1. 地域の経済動向調査に関すること」「5. 需要動向調査に関すること」を実施いただき、その結果も活用いただきますようお願いいたします。（小林）

II. 地域経済の活性化に資する取り組み（11～12P）

1. 福崎町、地域の金融機関、工業団地に進出する企業と連携して、「福崎町なっ得商品券」（プレミアム商品券）の継続的な発行

【取組んだ内容】



福崎町内の消費拡大及び地域中小企業者への振興、活性化を図ることを目的として、平成11年度から毎年「なっ得商品券（10%プレミアム商品券）」を発行している。令和元年度は、総額55,000千円を発行した。会員向けDM発送、町内新聞折込で商品券発行周知等、商品券加盟店の募集案内を行い、本事業を充実させた。本事業実績については以下の通り。なお令和2年度は総額66,000千円を発行予定である。

- ・使用期間：令和1年7月17日～令和2年1月16日（6ヶ月間）
- ・発行総額：55,000千円（完売）
- ・加盟店舗数：132店舗
- ・換金額：54,753千円（換金率99.55%）

また、今年度は10月に消費税が10%に引き上げられたため、町の委託を受け消費対策として低所得者、3歳未満の子供のいる世帯を対象としてプレミアム付き商品券を発行した。

- ・使用期間：令和1年10月1日～令和2年3月1日（6ヶ月間）
- ・発行額：35,100,000円
- ・加盟店舗数：96店舗
- ・換金額：35,011,500円（換金率99.75%）

#### 【評価・コメント】

評価	コメント
A	熱心に取り組まれており、令和2年度も引き続き継続して頂きたい。（荒木）
A	いずれも概ね計画通りの換金率であり、A評価とした。（山脇）
A	「福崎町なっ得商品券」（プレミアム商品券）の発行に継続的に取り組んでいる。（佐藤）
A	町内の消費喚起や商工会加盟店の売上拡大などの観点から、今後も継続事業として取り組んでいただきたい。（成田）
B	商品券販売拡大のための連携を継続いただき、更に活性化を図るために加盟店の店舗数拡大の取組みもお願いします。（小林）

## 2. 福崎町、観光協会等と連携した福崎町特産の「もちむぎ麺」の販路拡大、民俗学の父「柳田國男」を活用した観光産業への支援

### 【取組んだ内容】

福崎町の依頼を受け、福崎町商工会とPAGE（ページ）の連携体で「商店街活性化・観光消費創出事業」（所管：経済産業省）の申請を行った。事業の概要は、三木家住宅や旧辻川郵便局をホテル・レストラン等に改修して、地域外や日常の需要以外から新たな需要を取り込み地域の来訪者の増加を促すことで、消費の喚起、地域店舗の売上の増加につなげ、商店街等の活性化を行う。

全体の事業規模は、2億円。補助金は1億2千万円。令和元年7月9日に採択を受け事業着手。令和2年5月からホテル等を稼働する予定。（コロナウイルス感染症拡大により変更の可能性有）

もち麦産地振興協議会に参画。これまで、もち麦の品種は米澤2号だけであ

ったが、食物繊維含有量の多い品種（フクミファイバー）の品種登録を行う。もち麦の新品種の栽培技術の確立し、新たな需要拡大を狙う。新商品として、「ゆでもち麦」・「もち麦シリアル」・「もち麦バー」等の開発や、神戸医療福祉大学、中小企業大学校関西校への食堂にもちむぎ麺等を利用していただく。

令和2年2月1日（土）に福崎町や福崎町もち麦生産組合、中播磨県民センターと共催して「もちむぎフォーラム」を開催。100名以上が「もち麦料理教室」や「もち麦講演会」に参加した。

福崎町観光協会と連携して、福崎町オリジナル年賀状を11000枚、妖怪ベンチカレンダーを3500セット発行し、福崎町のPRに努めた。

#### 【評価・コメント】

評価	コメント
A	新型コロナウイルスの影響が懸念されるが、引き続き継続して頂きたい。（荒木）
A	地域資源を活用した良好な取り組みである。更なる事業の発展に向けて継続した取り組みが必要。（山脇）
A	様々な観光産業への支援に取り組んでいる。（佐藤）
A	本年度から、観光交流室を設置。特産品を含めた観光振興を推進する。（成田）
B	経済産業省の補助事業実施は、他の商工会の模範となる取り組みでありますので、職員研修等でご披露いただきたいと思います。これらの事業を、計画書に記載のとおり小規模事業者の商品開発・情報発信に繋げていただきますようお願いします。（小林）

### 3. 日本遺産「鉱石の道・銀の馬車道」を活用した地域おこし

#### 【取組んだ内容】

「銀の馬車道ネットワーク協議会」に参画し、中播磨の各商工会と連携して「銀の馬車道受入体制整備強化事業」（中播磨県民センター補助事業）に取り組む。

中播磨インバウンド対策おもてなしセミナーを開催し、管内の小規模事業者を対象に、来日される外国人へのおもてなし等を学ぶとともに、日本遺産「鉱石の道・銀の馬車道」のPRに努めた。講師からは、来日する外国人の方が、日本の事を学んで来日するので、何も怖がらずに日本語か英語（片言でもいい）で話かける事。声をかけてもらう事で外国人は喜ばれる事を学んだ。

中播磨インバウンド対策おもてなしセミナー

開催日時：令和元年9月9日（月）14時～16時

開催場所：姫路市夢前町 夢乃井

講師：京都外国語大学教授のジェフ・バーグランド氏

参加者：137名

#### 【評価・コメント】

評価	コメント
A	インバウンドは大きく減少しているが、感染が収束した後を見越して、引き続き継続して頂きたい。(荒木)
A	多くの集客があり、A 評価とした。参加者のフォローアップにより、セミナー内容の効果検証にも取り組まれない。(山脇)
A	日本遺産「鉱石の道・銀の馬車道」を活用した地域おこし活動に取り組んでいる。(佐藤)
A	今後も PR 活動に努めること。(成田)
C	セミナーに加え、計画書の記載された小規模事業者、観光資源、産物のプロモーション、観光マップ、グルメマップ、観光アプリによる PR と誘客の取組みをお願いします。(小林)

#### 4. 地域イベント「ふくさき産業祭」の充実

##### 【取組んだ内容】

会員と消費者がふれあう場を創造するため産業祭を開催。「食育祭」と同日開催、平成 30 年度からは例年 2 日間の祭りを 1 日に集約したため、多くの方が来場された。

展示即売会に多くの企業に出店いただいた。ふくさき産業祭実行委員会（福崎町商工会内部組織）に福崎町や福崎町観光協会などにも参加を呼びかけ連携して地域の特産品や地域資源を活用したイベントを実施し、町内外からの集客を図り出店した企業の売上拡大を図った。また、新たな需要に寄与する事業として小規模事業者が売上拡大は販路開拓に繋げられる場として一般消費者への呼びかけや周知方法など活用を考えた。

- 実施日時 令和元年 11 月 2 日（土）9 時～15 時  
 開催場所 福崎町商工会館・エルデホール周辺  
 来場者数 推定 5,000 人  
 内 容 青年部、女性部、会員などによる展示即売会、福引大会、  
 謝恩抽選会、福崎警察署による白バイ・パトカー展示・写真撮影、  
 ミニ動物園、ステージイベント、工業団地パネル展示、  
 フクちゃんサキちゃん・ガジロウとの写真撮影会、似顔絵コーナー  
 ①展示即売会：27 団体 27 小間  
 ②ステージイベント：10 団体（248 名）  
 ③福引き券付き商品の販売：1,300 本＜完売午前 10 時 14 分＞  
 ④協賛広告：157 件 291 口  
 ⑤50 円お買い物券換金：3,557 枚（177,850 円）  
 ⑥フクちゃんサキちゃん・ガジロウとの写真撮影会：  
     フクちゃんサキちゃん 15 組  
     ガジロウ 14 組  
 ⑦似顔絵コーナー：22 名

##### 【評価・コメント】

評価	コメント
A	熱心に取り組まれており、令和 2 年度も引き続き継続して頂きたい。

	(荒木)
A	開催日の工夫により多くの集客を実現し、出展企業の PR にも繋がっている。来年度は、更なる効果的なイベントの企画を検討されたい。(山脇)
A	「ふくさき産業祭」の充実化に取り組んでいる。(佐藤)
A	日程が1日に変更となったことでの影響はどうであったか。分析は。(成田)
B	令和元年度事業を分析し、次年度以降も更なる小規模事業者の売上拡大、販路開拓に繋がるよう改善を加え、取組みをお願いします。(小林)

## 5. JR 福崎駅周辺における商業の活性化

### 【取組んだ内容】

平成 26 年度から福崎町が着手していた「JR 福崎駅周辺整備事業」が完了し、令和元年 10 月に駅前観光交流センター、交通広場、交流広場が完成したため、毎年行っている、「ふくさきルミネール (イルミネーション)」を 11 月 1 日から 1 月 31 日の 3 ヶ月間、福崎駅前の賑わいと防犯を兼ねるため点灯を行い、駅前地域の活性化に取り組んだ。

また、駅周辺では買物できるお店が無く、平成 30 年度に行った、アンケート調査に基づき、コンビニ等の商業施設の誘致を行っていたが、条件が合わず、コンビニは断念。会員である不動産業者を通じて、ドラッグストアの誘致に成功した。令和 3 年 10 月のオープンする予定である。

また、同じく辻川観光交流センターがオープンした事により、福崎駅と辻川地域を一体として活性化させるべく「福崎駅前・辻川地区の振興を考える会」を福崎町商工会内部組織として設立。12 月 19 日に会議を開催して「商店街活性化・観光消費創出事業」等について、PAGE と意見交換を行った。

### 【評価・コメント】

評価	コメント
A	熱心に取り組まれており、令和 2 年度も引き続き継続して頂きたい。(荒木)
A	PAGE 社との地域資源活用事業に繋がっており、A 評価とした。(山脇)
A	JR 福崎駅周辺における商業の活性化に取り組んでいる。(佐藤)
A	ハード事業は完成したが、今後、これらの施設・館の活用推進を図ることが必要です。各関係機関の力がより大事となります。(成田)
C	「福崎駅前・辻川地区の振興を考える会」等、地域との連携により、計画書の記載された商店の誘致、周辺の空き家・空き店舗の有効活用に繋げるようお願いします。(小林)

## III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組 (12~13P)

### 1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

(事業内容)

## ① 広域支援機関との連携

### 【取組んだ内容】

令和元年度は、兵庫県商工会連合会が主催する事務局連絡会が年4回開催され出席した。経営支援に係る多くの事業等について兵庫県商工会連合会等から説明を受けた。

経営発達支援事業については、兵庫県商工会連合会及び他の商工会から事業評価報告等の仕方やノウハウ等、情報交換収集に努めた。

### 兵庫県商工会連合会主催の事務局連絡会

開催日	場所	内容
7月1日	夢乃井	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんばる小規模事業者支援事業の周知について</li> <li>・ひょうごファミリーパックについて</li> <li>・働き方改革関連法への対応と管理職の役割</li> <li>・商工会プラン2019（全国連）</li> <li>・令和2年度予算編成等に係る要望調査について</li> <li>・共済推進運動について</li> <li>・企業BCP策定支援事業について</li> <li>・経営発達支援計画、事業継続力強化支援計画について</li> <li>・伴走型小規模事業者支援推進補助金について 等</li> </ul>
9月3日	県中央労働センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCP策定セミナー</li> <li>・小規模事業者支援法の改正について</li> <li>・法定経営指導員について</li> <li>・商工会職員給与県連一括支給について</li> <li>・小規模事業者持続化補助金について</li> <li>・シルバー人材センターの活用について 等</li> </ul>
12月18日	ラッセホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務効率化のためのシステム活用セミナー</li> <li>・働き方改革、最低賃金について（労働局）</li> <li>・スーパーバイザー巡回状況について</li> <li>・人事異動方針について</li> <li>・職員給与支払い事務の県連集約化について</li> <li>・商工会法施行60周年記念事業について</li> <li>・令和2年度県連助成事業について</li> <li>・事業継続力強化支援計画申請について</li> <li>・令和元年度経営発達支援事業報告方法について</li> <li>・小規模事業者持続化補助金報告書類の提出について 等</li> </ul>
2月14日	六甲荘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会関連の令和2年度予算等について</li> <li>・令和2年度産業労働部の施策について</li> <li>・今後の商工会のあり方と求められる職員について</li> <li>・職員給与計算事務の県連集約化について</li> <li>・商工会適正化巡回訪問の結果について 等</li> </ul>

### 【評価・コメント】

評価	コメント
----	------

A	熱心に取り組まれており、令和2年度も引き続き継続して頂きたい。 (荒木)
A	計画的に参加しており、一定の評価はできる。(山脇)
A	支援ノウハウ等の情報交換のための「広域支援機関との連携」に取り組んでいる。(佐藤)
A	計画どおり遂行されている。(成田)
C	計画書に記載の中播磨地区商工会の連携を強化し、支援ノウハウ等の共有、連携から生み出される改善案等を事務局長会議で提言いただきますようお願いいたします。(小林)

## ② 専門家及び兵庫県よろず支援拠点との連携

### 【取組んだ内容】

「女性のための起業講座」を開催した。福崎町内で創業を目指す女性（創業して5年未満を含む）を対象とし、全4回（12月3・6・10・17日）に渡り開催し、計5名の参加があった。講師には兵庫県よろず支援拠点所属の中小企業診断士2名を講師として招き、創業計画書の作成に向けて支援を行った。参加者の内、セミナー後に1件の創業があり、もう1件が令和2年度中の創業に向けて現在計画中であり福崎町商工会で支援をしている。

また、兵庫県商工会連合会と共催で行った課題別サポート事業(集団)について、「HACCP導入における支援セミナー」の講師として兵庫県よろず支援拠点所属の中小企業診断士を招き、導入に向けての基礎から実践について説明していただいた。

### 【評価・コメント】

評価	コメント
A	専門家だけでなく、よろず支援拠点とも積極的に連携されており、今後も継続して頂きたい。(荒木)
A	創業者（予定者を含む。）の実績は出ている。今後も多様な専門家と連携したセミナー等を期待する。(山脇)
A	専門家及び兵庫県よろず支援拠点との連携に取り組んでいる。(佐藤)
B	計画どおり進めてください。(成田)
C	セミナー実施の効果を上げるため、計画書に記載された会議の開催をお願いします。 また、県連助成事業の課題別経営サポート事業を活用した「事業承継セミナー」、産学連携事業による「1. 地域の経済動向調査に関すること」「5. 需要動向調査に関すること」の実施も検討いただきますようお願いいたします。(小林)

## ③ 地域金融機関との連携

### 【取組んだ内容】

5月29日に福崎町金融協会との意見交換会を開催して、「福崎町なっ得商品券」・「消費税対策プレミアム商品券」について協議した。福崎町商工会として、令和元年度は2種類のプレミアム付き商品券を発行。発行時期、加盟店の状況や、

発行予定額、換金方法等を協議した。

【評価・コメント】

評価	コメント
A	熱心に取り組まれており、令和2年度も引き続き継続して頂きたい。 (荒木)
A	II 1のとおり。(山脇)
A	地域金融機関との連携に取り組んでいる。(佐藤)
A	町内の消費喚起対策として進めてください。(成田)
C	地域振興に加え、計画書に記載された金融支援、創業、経営改善事例の 情報交換、支援の方向性の共有についても連携いただきますようお願い します。(小林)

④株式会社日本政策金融公庫姫路支店との連携

【取組んだ内容】

年一回開催の日本政策金融公庫姫路支店管内の商工会、商工会議所による連絡会議は業務の都合により欠席となったが、姫路市商工会、日本政策金融公庫姫路支店との共催で「一日金融公庫」を開催し、2件の相談、うち1件が融資実行された。同事業において日本政策金融公庫姫路支店と姫路市商工会との意見交換を行い、連携と協調を促進した。また公庫職員との関係性を密にし、会員事業所の資金調達においてスピーディーに対応した。

12月17日に福崎町内で創業を目指す女性（創業して5年未満を含む）を対象とした「女性のための起業講座」で資金調達方法について、8月29日に青年部員を対象とした「経営力向上セミナー」で金融機関から見た資金調達について、日本政策金融公庫姫路支店より講師を招いた。

【評価・コメント】

評価	コメント
A	熱心に取り組まれており、令和2年度も引き続き継続して頂きたい。 (荒木)
A	経営指導員と公庫担当者との連携は進んでいる。今後は、マル経融資についても更なる取組みを期待する。(山脇)
A	株式会社日本政策金融公庫姫路支店との連携に取り組んでいる。(佐藤)
A	計画どおり遂行されている。(成田)
C	記載の連携に加え、計画書に記載された公庫職員と商工会職員の巡回実施についても連携をお願いします。(小林)

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

- ①兵庫県商工会連合会等が主催する職責、相談業務、経営支援に必要な専門知識の習得と課題解決に向けた提案力を身に着ける為の研修に年2回以上参加し、経営実態の把握や経営状況の把握及び経営計画策定など、小規模事業者の利益確保に

繋がる支援能力の習得を図る。また、他の参加者の支援事例や講師の専門性を見極め、専門家活用におけるコーディネータ力の向上に努める。

【取組んだ内容】

兵庫県商工会連合会主催の研修会に参加し、経営支援に必要な専門知識の習得や提案力を学んだ。参加内容は次のとおり。

受講日	受講者	講座名	内容
6月15日	木村真一 安本直美 大道裕子 鷲尾孟彦 船田和夫 宇崎恭平	第8回経営支援事例発表兵庫大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ブロック代表者7名による経営支援事例発表</li> <li>講評(パネルディスカッション含む)・表彰式</li> </ul>
7月2日	宇崎恭平 加藤明子 田中奈美恵	共済担当者研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>労務リスク対策について</li> <li>各種共済事務手続きについて</li> </ul>
7月29日	船田和夫	プレゼンテーション能力研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンテーション時の心構えについて</li> <li>プレゼンテーションの実践について</li> </ul>
8月6日	安本直美	事業承継研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業承継のすすめについて</li> <li>事業承継支援について</li> </ul>
8月29日	大道裕子	税務研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費税軽減税率制度について</li> <li>適格請求書等保存方式(インボイス制度)について</li> <li>事業承継税制について</li> </ul>
9月10日	大道裕子	コミュニケーション能力研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑なコミュニケーションの成立要件について</li> <li>コミュニケーションのあり方について</li> </ul>
9月26日	安本直美 宇崎恭平	コミュニケーション能力研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑なコミュニケーションの成立要件について</li> <li>コミュニケーションのあり方について</li> </ul>
10月3日	船田和夫 宇崎恭平	創業支援研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業支援の進め方について</li> <li>起業化支援事業計画について</li> </ul>



10月8日	鷲尾孟彦	創業支援研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業支援の進め方について</li> <li>・起業化支援事業計画について</li> </ul>
11月6日 ～7日	船田和夫	経営革新計画策定支援研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営革新計画の概要</li> <li>・経営革新計画に向けた取組み</li> <li>・新たな価値創造の視点</li> <li>・経営革新計画策定の進め方</li> <li>・ロールプレイング演習</li> <li>・経営革新計画書類作成</li> <li>・経営革新計画グループ発表・フィードバック</li> <li>・研修の振り返り</li> </ul>
11月26日	宇崎恭平	企業会計研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営数値を把握する財務諸表の構造と読み方について</li> <li>・経営数値の使い方について</li> <li>・必要利益計算・利益とキャッシュフローについて</li> </ul>
12月3日	鷲尾孟彦	企業会計研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営数値を把握する財務諸表の構造と読み方について</li> <li>・経営数値の使い方について</li> <li>・必要利益計算・利益とキャッシュフローについて</li> </ul>

#### 【評価・コメント】

評価	コメント
A	職員の資質向上には、非常に熱心に取り組まれており、その成果も確認できる。(荒木)
A	計画的に参加しており、一定の評価はできる。(山脇)
A	兵庫県商工会連合会等が主催する研修を受講して、経営指導員等の資質向上等に取り組んでいる。(佐藤)
A	計画どおり遂行されている。(成田)
C	次年度以降も職責に応じた受講を推進し、会員支援、業務効率化等に繋げていただき、加えて、計画書に記載されたセミナー講師との連携促進による専門家活用にも取り組みいただきますようお願いいたします。(小林)

- ② 職員の職務歴に応じて中小企業大学校が主催する研修に年1回参加する。

【取組んだ内容】

中小企業大学校主催の研修会に参加し、経営支援に必要な専門知識の習得や提案力を学んだ。参加内容は次のとおり。

受講日	受講者	講座名	内容
6/3～6/27	大道係長	中小企業支援担当者等研修経営診断基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業診断に必要な基礎知識について</li> <li>・小規模事業者の経営特性や経営実態の捉え方、評価方法等、商業分野の診断について</li> </ul>
8/20～9/13	安本係長	中小企業支援担当者等研修税務・財務診断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業の経営支援について</li> <li>・基礎的な財務分析の手法について</li> <li>・税の体系と税額計算について</li> </ul>

【評価・コメント】

評価	コメント
A	職員が中小企業大学校に行かれた際には、業種別審査事典の最新版が令和2年3月から導入されている為、積極的に活用して頂きたい。(荒木)
A	計画的に参加しており、一定の評価はできる。(山脇)
A	中小企業大学校関西校が主催する研修を受講して、経営指導員等の資質向上等に取り組んでいる。(佐藤)
A	計画どおり遂行されている。(成田)
C	次年度以降も職責に応じた受講を推進し、会員支援、業務効率化等に繋げていただき、加えて、計画書に記載されたセミナー講師との連携促進による専門家活用にも取組みいただきますようお願いいたします。(小林)

- ③ 創業支援に必要な機関の研修を受講し、支援力の向上に努める。

【取組んだ内容】

兵庫県信用保証協会主催の「創業フェアはりま」において金融機関・支援機関等との交流会や、創業支援について専門家のミニセミナーに参加し、創業に関する取り組み情報取得に努めた。

受講日	講座名	場所	受講者
11月7日	創業フェアはりま	姫路商工会議所本館7階	宇崎恭平

【評価・コメント】

評価	コメント
A	熱心に取り組まれており、令和2年度も引き続き継続して頂きたい。 (荒木)
A	計画的に参加しており、一定の評価はできる。(山脇)
A	創業支援に必要な機関の研修を受講して、経営指導員等の資質向上等に取り組んでいる。(佐藤)
A	計画どおり遂行されている。(成田)
C	次年度以降も職責に応じた受講を推進し、会員支援、業務効率化等に繋げていただき、加えて、計画書に記載されたセミナー講師との連携促進による専門家活用にも取り組みいただきますようお願いいたします。 (小林)

- ④小規模事業者に専門家を派遣する際には、担当職員が同行し、専門家の指導、助言ノウハウなど高度な支援力を学ぶ。

【取組んだ内容】

兵庫県商工会連合会チーフアドバイザー (CA) 派遣	12 件
兵庫県商工会連合会課題別経営サポート支援事業	1 件
兵庫県商工会連合会消費税軽減税率対策窓口相談事業	17 件
兵庫県商工会連合会情報発信支援事業 (IT アドバイザー派遣)	7 件
中小企業庁ミラサポ専門家派遣事業	6 件
合 計	43 件

実施日	担当者	講師	種類	内容
4 月 10 日	鷲尾孟彦	荒木慎吾	ミラサポ	販路拡大・販促支援
4 月 12 日	船田和夫	藤尾政明	消費税	事業計画作成支援
4 月 18 日	安本直美	藤尾政明	消費税	生産性向上
4 月 19 日	安本直美	藤尾政明	消費税	HP 作成による販路拡大
4 月 23 日	船田和夫	藤尾政明	CA	経営計画策定支援
5 月 13 日	船田和夫	藤尾政明	CA	経営計画策定
5 月 15 日	船田和夫	藤尾政明	消費税	創業支援
5 月 16 日	船田和夫	荒木慎吾	消費税	事業計画作成支援
5 月 16 日	鷲尾孟彦	荒木慎吾	ミラサポ	販路拡大・販促支援
5 月 17 日	船田和夫	藤尾政明	消費税	事業計画作成支援
5 月 21 日	船田和夫	藤尾政明	CA	販路開拓に向けた経営計画の策定支援
5 月 22 日	船田和夫	荒木慎吾	消費税	事業計画作成支援
5 月 22 日	船田和夫	松原弘幸	CA	労使間トラブルについての相談
5 月 22 日	船田和夫	藤尾政明	消費税	事業計画作成支援

5月24日	船田和夫	荒木慎吾	消費税	消費税転嫁対策支援
5月28日	安本直美	藤尾政明	消費税	消費税増税対策支援
6月5日	船田和夫	細見麻規	消費税	消費税転嫁対策支援
6月6日	船田和夫	藤尾政明	消費税	消費税転嫁対策支援
6月11日	安本直美	藤尾政明	消費税	HP作成による販路拡大
6月17日	宇崎恭平	荒木慎吾	消費税	経営分析
6月20日	鷺尾孟彦	芳田京美	消費税	販路拡大（移動販売）
6月20日	船田和夫	荒木慎吾	消費税	事業計画作成支援
6月26日	宇崎恭平	荒木慎吾	消費税	事業計画作成支援
7月16日	船田和夫	藤尾政明	CA	経営発達支援事業
7月30日	安本直美	立花史雄	ITアドバイザー	情報発信について
8月2日	船田和夫	藤尾政明	CA	経営計画の確認
8月2日	船田和夫	藤尾政明	ミラサポ	経営革新計画策定支援
8月16日	船田和夫	藤尾政明	ミラサポ	BCP策定支援
8月21日	宇崎恭平	中西雅幸 相馬裕貴	ITアドバイザー	Facebookの企業ページの作成支援
9月3日	鷺尾孟彦	藤尾政明	CA	経営革新計画策定支援
9月5日	船田和夫	藤尾政明	CA	経営計画策定支援
9月27日	鷺尾孟彦	安藤都昭	CA	就業規則作成支援
9月30日	船田和夫	立花史雄	ITアドバイザー	ECサイトのリニューアル
10月3日	宇崎恭平	中西雅幸 相馬裕貴	ITアドバイザー	Facebookの企業ページの作成支援
10月31日	鷺尾孟彦	原田昌志	ミラサポ	雇用・労務関係
11月6日	大道裕子	立花史雄	ITアドバイザー	海外ネットショップの販促について
11月22日	鷺尾孟彦	安藤都昭	CA	就業規則作成支援
11月25日	宇崎恭平	中西雅幸 相馬裕貴	ITアドバイザー	Facebookの企業ページの作成支援
11月27日	安本直美	安藤都昭	CA	助成金申請後指導
11月29日	鷺尾孟彦	原田昌志	ミラサポ	雇用・労務関係
12月18日	船田和夫	藤尾政明	CA	事業継続力強化計画の策定について
1月21日	鷺尾孟彦	芳田京美	課題別	販路拡大（移動販売）
3月17日	船田和夫	中西雅幸	ITアドバイザー	ITを活用した在庫

				管理について
--	--	--	--	--------

【評価・コメント】

評価	コメント
A	専門家派遣は積極的に利用されている。また、伴走型補助金を使った専門家派遣を実施している商工会もある為、参考にして頂きたい。(荒木)
A	計画的に参加しており、一定の評価はできる。(山脇)
A	専門家の指導、助言ノウハウなど高度な支援力を学び、経営指導員等の資質向上等に取り組んでいる。(佐藤)
A	知識力の向上に努めている、今後の指導に役立ててください。(成田)
C	次年度以降も職責に応じた受講を推進し、会員支援、業務効率化等に繋げていただき、加えて、計画書に記載されたセミナー講師との連携促進による専門家活用にも取り組みいただきますようお願いいたします。

- ⑤ベテラン職員は、支援経験の少ない職員が伴走型支援を行う際に、専門家のコーディネートや支援手法などOJTにより育成に努める。

【取組んだ内容】

- ・5月に、宍粟市商工会から異動してきたベテラン職員が退職したため、事務局長や前任担当者がOJT、専門家のコーディネート等を行う。
- ・移動販売実証実験事業において、商業関係に強い芳田京美中小企業診断士を選任。移動販売事業だけでなく肥野ストア全体の支援に結び付ける。
- ・働き方改革個別相談会に、岩崎純社会保険労務士事務所に局長と担当者が訪問して講師をお願いする。
- ・確定申告期における税理士協会との会議に、局長と担当者が出席。協議派遣について打合せを行う。
- ・特定退職金共済が令和2年11月に廃止されるため、局長と担当者が加入事業所へ説明に行く。
- ・異動したばかりの職員に対し、マル経融資の推薦を行う際に同行同席する。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大による、中小企業支援策として雇用調整助成金や無利子貸付について、情報収集を行い職員に周知。
- ・創業のための融資相談があった際に、担当者に同席して創業計画書などの作成支援を行う」
- ・地域未来牽引企業推薦についての内容確認及び指導を行う。

【評価・コメント】

評価	コメント
A	熱心に取り組まれており、令和2年度も引き続き継続して頂きたい。(荒木)
A	公庫担当者とも会員企業への帯同訪問等を実施しており、人材育成の取組みには一定の評価ができる。(山脇)
A	OJTにより育成に努め経営指導員等の資質向上等に取り組んでいる。(佐藤)

A	親切丁寧に業務に当たっていることが見受けられます。(成田)
C	上記に加え、事業計画策定、策定後の実行支援、実行後の改善等の伴走型支援についても取組みいただきますようお願いします。(小林)

- ⑥商談会や展示会、アンテナショップに出展する小規模事業者に同行し、バイヤーとの交渉や消費者へのPR方法などを通じ、マーケティングに対してのスキルや支援力の向上に努める。

**【取組んだ内容】**

商品PR、販路開拓、商談の機会獲得を目的とし9月5日～6日の2日間にわたり国際フロンティア産業メッセ 2019 について相沢食産の出展に同行し、営業支援を行った。

また、販路開拓支援、ビジネスチャンスの創出のため、9月19日～20日の2日間にわたり「第61回大阪インターナショナル・ギフト・ショー秋2019」のブース出展についてペットショップワンスマイルの展示パネルの作成やポスター・リーフレットの作成等、出展までの打ち合わせや当日同行し、商談の支援を行った。

その他の商談会や展示会の案内について、会員向けDM及び福崎町商工会ホームページにおいて情報提供を行った。

**【評価・コメント】**

評価	コメント
A	熱心に取り組まれており、令和2年度も引き続き継続して頂きたい。(荒木)
A	単発ではなく、継続的に会員企業の販路開拓の支援に取り組まれたい。(山脇)
A	商談会や展示会、アンテナショップに出展する小規模事業者に同行し、経営指導員等の資質向上等に取り組んでいる。(佐藤)
A	計画どおり遂行されている。(成田)
C	マーケティングに関するスキルや支援力の向上については、会員支援において重要な項目でありますので、職員間での支援ノウハウ等の共有をお願いします。(小林)

<情報共有による資質向上>

- ①支援に関する巡回時の記録、事業者の経営状況分析結果等を経営カルテとして蓄積し、情報の共有化を図ることで経営支援体制を構築する。

**【取組んだ内容】**

日々の巡回や窓口対応での記録を経営カルテとして残し、事業所ごと、また指導内容区分等の分類および検索を有効活用し、職員全体で共有することにより、必要な時に誰もが対応、活用できるよう支援体制の整備を行った。また、これらのデータ共有が会員事業所への経営支援の基礎資料として活用でき、組織全体における支援能力の向上を図った。

【評価・コメント】

評価	コメント
A	姫路商工会議所もカルテのデータベース化が進んでおり、職員なら誰でも瞬時に検索できる体制を構築されており、参考にして頂きたい。(荒木)
A	経営指導員の能力開発に向けて一定の効果は認められ、一定の評価はできる。(山脇)
A	経営カルテとして蓄積、共有化により資質向上に取り組んでいる。(佐藤)
A	経営支援体制の基盤づくりに務めてください。(成田)
C	会員支援において重要な項目でありますので、引き続き、職員間での共有をお願いします。(小林)

- ②支援会議を月1回の頻度で開催し、実際に関わった支援の進捗状況、専門家派遣の内容報告を共有し、支援先の優先順位などを含め全員で意見交換し、支援ノウハウと意識の共有化を図る。

【取組んだ内容】

7月16日に、藤尾中小企業診断士に来ていただき、経営発達支援事業に取り組むため職員向け研修を行うなど、支援事例や支援ノウハウの共有を図ったが、月1回の支援会議はできていない。

支援内容等の職員同士の情報の共有として、週3回開催する朝礼を活用し、その日に支援する内容や支援した内容を担当者から説明を行った。

【評価・コメント】

評価	コメント
A	支援会議を開催される際には、専門家も交えながら、意見交換することも検討して頂きたい。(荒木)
A	経営指導員の能力開発に向けて一定の効果は認められ、一定の評価はできる。(山脇)
A	支援会議を活用し、支援ノウハウと意識の共有化を図り、資質向上に取り組んでいる。(佐藤)
C	計画に沿うように努めてください。(成田)
D	朝礼に加え、計画に記載された支援会議を開催いただき、会員支援ノウハウや支援の方向性等の共有をお願いします。(小林)

- ③職員会議を月1回の頻度で開催し、研修等で習得した小規模事業者の支援事例や支援に有効なノウハウを紹介し共有化を図る。

【取組んだ内容】

職員会議を月1回開催し、事業に対する職員への共有を図った。

実施日	議題
4月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総代改選について</li> <li>・会報やまももについて</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種担当について</li> </ul>
5月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総代会等について</li> <li>・健康診断案内について</li> </ul>
6月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なっ得商品券販売について</li> <li>・夏まつりについて</li> <li>・源泉指導について</li> <li>・健康診断について</li> <li>・中播磨地区商工会連絡協議会事業について</li> </ul>
7月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なっ得商品券販売について</li> <li>・福崎町プレミアム付商品券（消費税対策）発行事業について</li> <li>・夏まつりについて</li> <li>・健康診断について</li> <li>・経営者協会事業について</li> <li>・記帳機械化担当割当てについて</li> </ul>
9月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福崎町プレミアム付商品券（消費税対策）発行事業について</li> <li>・産業祭について</li> <li>・ふくさきジョブトラベルについて</li> <li>・HACCPセミナーについて</li> <li>・就職面接会について</li> <li>・一日金融公庫について</li> </ul>
10月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業祭について</li> <li>・中間監査について</li> <li>・姫路食博について</li> </ul>
11月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路食博について</li> <li>・女性のための起業講座について</li> <li>・新年交礼会について</li> </ul>
12月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年末調整について</li> <li>・新年交礼会について</li> </ul>
1月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1/24 理事会並びに新年会について</li> <li>・1/30 中播磨職員税務研修会について</li> <li>・2/17～3/16 決算・申告指導について</li> </ul>
2月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2/17～3/16 決算・申告指導について</li> <li>・2/20 組織検討委員会について</li> <li>・2/22～2/23 姫路城マラソンについて</li> <li>・3/17～19、3/23～24 経営計画策定個別相談会について</li> </ul>
3月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度事務分掌（案）について</li> <li>・年度末・年度初について</li> <li>・労働保険年度更新について</li> </ul>

【評価・コメント】

評価	コメント
A	熱心に取り組みされており、令和2年度も引き続き継続して頂きたい。 (荒木)
A	経営指導員の能力開発に向けて一定の効果は認められ、一定の評価は



	できる。(山脇)
A	職員会議を活用し、支援ノウハウと意識の共有化を図り、資質向上に取り組んでいる。(佐藤)
A	計画どおり遂行されている(成田)
C	引き続き、月1回開催いただき、職員間での商工会の地域振興等の共有をお願いします。